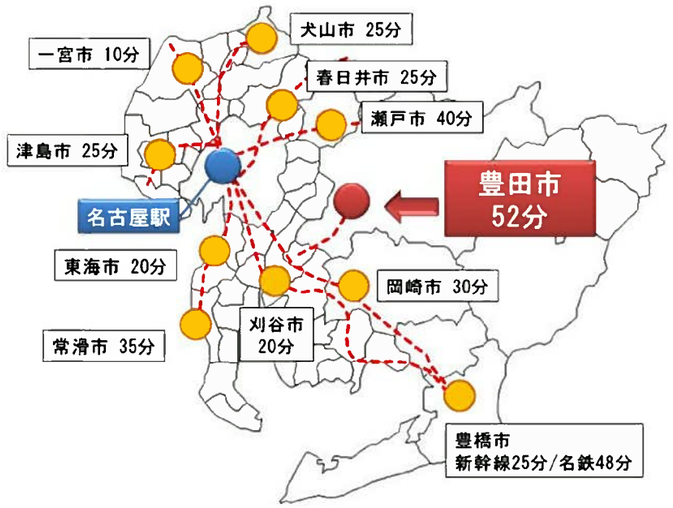
～ 名古屋鉄道三河線整備促進に向けて ～

名古屋鉄道三河線整備促進期成同盟会

背　景

■三河線の現状

【名古屋駅までの移動時間】

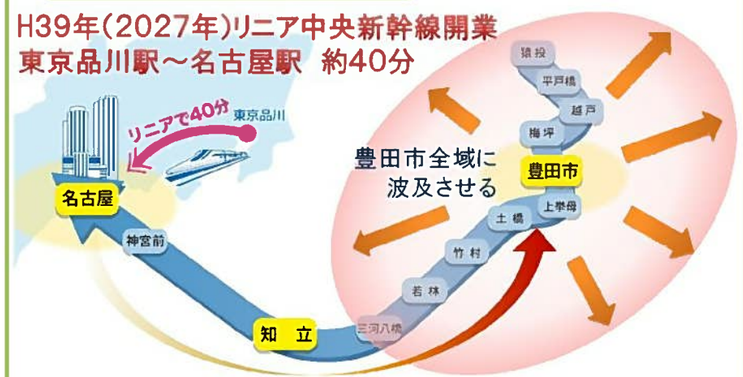


三河線の乗降客数（豊田市内）		
57,000人/日（H21）	➡	64,700人/日（H26）

三河線の線路・運行	
線路	単線構造　※豊田市駅～梅坪駅間は複線構造
運行	優等列車の運行なし・時間4本の運行

■リニア中央新幹線の開業

H39年（2027年）リニア中央新幹線開業
東京品川駅～名古屋駅　約40分



リニア効果を最大限に波及

➡ **40分交通圏の実現**

まちづくりの取組

【区画整理事業】 三河線沿線

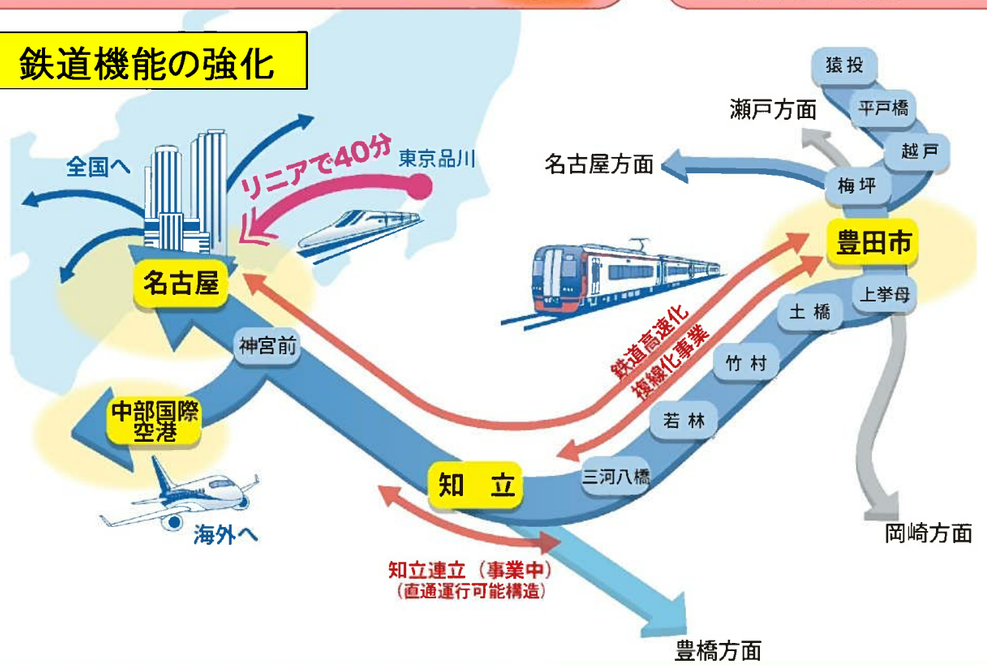
実施中	平戸橋地区 土橋地区 花園地区
計画中	若林地区

【市街化調整区域内地区計画制度】
鉄道沿線の定住施策（重点誘導地区）

【都心の賑わい創出】
再開発事業と都心環境計画による都心の整備

空間デザイン（案）H28.11時点

鉄道機能の強化



【スポーツイベント】
ラグビーWC（2019）・東京オリンピック（2020）
アジア大会（2026予定）・サッカーイベント（随時）

豊田スタジアム

スカイホール豊田

【観光・交流】
バスネットワークを活かして市内全域へ

魅力的な観光地

歴史的なまちなみ

美術館

観光・交流・イベントによる取組

要望事項

三河線の高速化

・複線化事業
・優等列車の運行
・三河線から
　名古屋本線への直通運行

➡

リニア開業効果を踏まえた交通ネットワークの充実により、更なる鉄道サービスの向上につながります

三河線の高架化

・若林駅付近高架化事業

➡

踏切除去により、安全・安心な運行につながります

三河線の駅舎整備

・豊田市駅の整備

➡

都心環境計画に基づく整備を行うことで駅の付加価値が向上します